

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課
 担当名：産学連携・新エネルギー産業担当
 内線：3736 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B19	知的財産・科学技術推進事業費			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	知的財産立県づくり推進費	
事業期間	平成12年度～	根拠法令	知的財産基本法第6条 科学技術基本法第4条			戦略項目	07 世界水準の中小企業		
						分野施策	030101 がんばる中小企業の支援		
1 事業概要 知財による産業振興を図る知的財産立県づくりを推進産業活性化や生活の質向上に寄与する科学技術の振興 (1) 知的財産総合支援センター埼玉運営事業 2千円 (2) 発明奨励 20千円 (3) 埼玉県科学技術会議の開催 2千円 (4) 次代を担う子どもたち育成事業 1千円 (5) (財)埼玉県産業振興公社人件費 1,460千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 知的財産総合支援センター埼玉運営事業 知財アドバイザー経費他 13,406千円 イ 発明奨励 発明創意くふう展経費他 439千円 ウ 特許出願促進事業 特許出願補償金 420千円 エ 埼玉県科学技術会議の開催 委員謝金等 186千円 オ 時代を担う子どもたち育成事業 体験教室開催負担金 155千円 カ (財)埼玉県産業振興公社人件費 10,207千円 (2) 事業計画 知的財産の分野は専門性が高く、人員や資金面の制約から多くの中小企業では取組が十分に行えないため、ワ ンストップでの支援体制を整え、運営する。また、未来を担う子供たちに科学技術に目を向かわせる取組を行う。 ア 知的財産総合支援センター埼玉の運営し、知財のワンストップサービスを提供する。 イ 埼玉県児童・生徒発明創意くふう展を開催する。(展示会：10月) ウ 県立試験研究機関の特許出願を促進する。 エ 科学技術会議を開催する。(年3回) オ 科学技術体験教室を開催する。 (3) 事業効果 科学技術の振興により県内企業の新たな技術の開発を支援し、さらに新技術の知財面の強化でさらなる競争力 の向上が図れる。また、科学技術への県民の理解や科学技術を担う人材の育成につながる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 (財)埼玉県産業振興公社と連携 (5) その他 「埼玉県第3期知的財産戦略」及び「埼玉県第3期科学技術基本計画」に基づき、知的財産による産業の振興を行 うとともに、産業の活性化や県民生活の質向上に寄与する科学技術を振興する。 (6) 補正予算の概要 (1) 知的財産総合支援センター埼玉運営事業(2) 発明奨励(3) 埼玉県科学技術会議の開催(4) 次世代を担 う子どもたち育成事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額。 (5) (財)埼玉県産業振興公社人件費：公社職員の給与の特例減額及び退職手当制度の改正に伴う減額。					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)、(県10/10) 事業者0 (2) (3) (4) (5) (県10/10) (6) (県10/10) 事業者0									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.3人=21,850千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,485							1,485	23,328
現計額	24,813							24,813	